



やまもと

Vol.209

令和7年5月1日発行



「きれいだね」新1年生とお姉ちゃん（作田山団地内）

第1回臨時会

会期 1月23日

第1回定例会

会期 2月28日

～3月21日

目次

- 議会報告会レポート…………… P2～3
- 定例会概要…………… P4
- 予算審議（討論、総括質疑）…………… P5～10
- 一般質問（質問議員8人）…………… P11～19
- その他議案・臨時会…………… P20
- 委員会報告…………… P21

令和7年議会報告会レポート

～たくさんのご参加・ご意見をいただきありがとうございました～

議会報告会概要

令和7年1月26日（日）に議会報告会を開催し、山下会場15名、坂元会場17名の方にご参加いただきました。

第1部では、議会の活動について説明のほか、各常任委員会から調査内容の概要を報告しました。

第2部では、「高齢化社会における住みよいまちづくりについて」をテーマに意見交換を行いました。

いただいた意見・要望は、今後の議会活動に生かして参ります。

議会から

今後方向性を示していきたい。

参加者意見

議員報酬、議員定数を減らすべきである。

参加者意見

町の活性化や空き地、空き家の問題、不在宅地の草刈りについて対策してほしい。



山下会場の様子

議会から

高齢化社会における環境整備や活性化に関して、執行部へ要請する。

議会から

移住・定住・婚活等、少子高齢化問題には対策や支援に取り組んでいる。定住促進事業の成果で、若い世代が増えている。

参加者意見

少子高齢化が進んでいる。老人ホームの開設や若い人向けの安い町営住宅、病院に産婦人科などがあればよいのだが。

議会から

担当課に検討するように伝える。

参加者意見

「高齢化社会における住み良い町づくり」というテーマで、若い人にも議論してもらおう環境づくりをするべきだ。

参加者意見

広報など配布物に横文字が多く、字が小さい。

議会から

今後はそのような場を作りたい。皆さんのご協力をお願いしたい。

議会から

元坂元中学校跡地の利活用に取り組んでいるところである。

参加者意見

坂元地区が限界集落になるのではと強く思う。坂元って良いところだな、ここに住んでいたいという町づくりをして欲しい。

令和7年度一般会計予算 原案通り可決

定例会概要

第1回定例会は、2月28日から3月21日（22日間）の日程で開催され、当初予算6件等26議案を審議しました。

一般会計予算案に対しては、原案に対する賛成・反対の討論が行われ、採決の結果、賛成多数をもって原案のとおり可決しました。

また、8人の議員が、今後のまちづくりや町政運営について一般質問を行いました。

当初予算概要

今回の一般会計予算は、人件費の増額の影響などにより、前年度に比べ増額となりました。

また、新規事業として、子育てや教育に関する事業が多く盛り込まれた内容となっております。

予算額は、一般会計が約84億円のほか、その他会計を合わせた総額は約134億円となりました。



令和7年度 各種会計予算一覧表

会計名	予算額	前年度比較	
		前年度	増減率
一般会計	83億9,258万円	3億8,141万円	104.8%
国民健康保険事業特別会計	17億962万円	▲6,927万円	96.1%
後期高齢者医療特別会計	2億4,096万円	1,137万円	105.0%
介護保険事業特別会計	15億7,897万円	6,054万円	104.0%
水道事業会計	5億3,195万円	▲655万円	98.8%
下水道事業会計	9億8,416万円	▲1,201万円	98.8%

町の予算が決まるまで

- ① 予算案が執行部（町長）から提出される
- ② 予算審査特別委員会（議長を除く議員全員）に予算審査が付託される
- ③ 特別委員会で予算案を詳細に審査する
- ④ 本会議で審査結果報告・討論・採決を行い予算案可決

今回はこのタイミングで各議員から予算案賛成・反対の討論がありました。各議員がどのような考えを表明したかお伝えします。

議員は予算の「ココ」を議論した！

討論

予算案原案に反対

竹内 和彦 議員
もっと優先すべきことは他にある

大地の塔へのトイレ建設予算3千万円は、なぜそれほど予算が必要なのか。震災から14年経過し来場者は年々減少している。最小のコストで最大の効果を考えるならば、移動式トイレは500万円、600万円で購入。この地にあったトイレ、震災後に修繕した費用とそれを解体した費用、すべて含めると6千数百万円となる。これから税収が減少していく中で、もっと優先すべき事は他にありません。

齋藤 俊夫 議員
予算査定機能の発揮に疑問

身の丈に合った財政規模や借金抑制に努めると述べながら、前年度を上回る予算案である。震災遺構の維持管理費を増やす一方で、人口減少や少子・高齢化対策の最重要施策として、大いに施策効果を発揮している「移住・定住支援補助金」の総額を減らしている。しかも、新規転入者への補助も減らし、町内居住者との補助の差を圧縮することで転出抑制が可能との説明は、理解不能で制度改悪の典型。理解に苦しむ予算編成である。

議案第26号

令和7年度山元町一般会計予算

議員は 予算の「ココ」を議論した!

議案第26号 令和7年度山元町一般会計予算 採決表

氏名	竹内 和彦	高橋眞理子	遠藤 龍之	丸子 直樹	大和 晴美	渡邊千恵美
採決結果	●	○	○	○	○	○
氏名	伊藤 貞悦	品堀 栄洋	岩佐 秀一	齋藤 俊夫	岩佐 孝子	菊地 康彦
採決結果	○	○	●	●	○	-

賛成：○ 反対：● 議長：-



議案第26号 起立採決

○予算審査特別委員会委員長報告



令和7年度各種会計当初予算は、3月7日に予算審査特別委員会（委員長：渡邊 千恵美）を設置、5日間の審査を行い、21日の本会議ですべて可決となりました。

○特別委員会審査結果
「可決すべきもの」

討論

予算案原案に賛成

品堀 栄洋 議員

予算原案に問題無し

職員が熟慮を重ね編成した新年度予算は、新規が継続にかかわらず欠かせないものであり、否決により町民の暮らしに支障があらはならない。

慰霊碑「大地の塔」敷地内に公衆トイレを設置する計画は、震災の発生から14年が経っている。高齢化が進むご遺族をはじめ、手を合わせに訪れる多くの方々に、いつでも安心して慰霊に來られる場所とするために、施設設置者として公衆トイレの設置は、町の重要な責務と考える。

丸子 直樹 議員

予算の速やかな可決を

トイレ整備費3千万円は高すぎる、移動式トイレの方が安価であるとの意見がある。

しかし、宮城県内ではトレッラートイレの設置事例は少なく、長期利用の観点からも適切ではない。寄贈されたトレッラーハウスも維持困難で撤去された。慰霊碑には移動式ではなく常設トイレが必要。過去の施策や他自治体の事例を踏まえ、常設の予算は委員会でも可決すべきものとされ、トイレ設置を理由に反対することは適切ではない。

高橋眞理子 議員

早期に再建すべき

「大地の塔」は、東日本大震災で犠牲になられた町民の方等を追悼する場である震災慰霊碑であり、唯一無二の施設である。震災から14年が経ち町はここまで復興し、被災した公共施設も再建された。それなのになぜトイレの再建がされないのか。町内外の方たちからの要望書や、いつまで審議しているのだという声も上がっている。早期に再建すべきであり、予算案原案に賛成である。

討論

予算案原案に賛成

岩佐 孝子 議員

一口でも早い整備をすべきである

執行部からの説明不足等と言っているが、慰霊碑「大地の塔」整備をする際に全てを完了すべき事業であった。県道拡幅時に解体、撤去した後は、再建をしなかったのはなぜだったのだろうか。ここは地域の方々、関係者、防災教育や命を次世代へ繋ぐべく足を運んでいる場所である。

公共施設設置基準や公共施設、公共工事の目的を考え、地域のみ皆さんの声を結集し一日でも早く整備実現すべきである。

伊藤 貞悦 議員

立ち止まらず一歩前に進もう

全議員で「予算審査特別委員会」を設置、5日間説明を受け、予算案を審議。最終日には町長・副町長・教育長との質疑も実施、予算に対する考え方や方針も確認し、審査のまとめを協議し「可決すべきもの」として決定され、委員長から報告されている。

委員会でも十分な審議と協議をし、決定したことに異議はない。従って報告のとおり議案第26号令和7年度山元町一般会計予算は可決すべきものと判断し原案に賛成する。

遠藤 龍之 議員

くらしを守る予算は通すべき

「大地の塔」トイレは、もともと、設置されていたものである。反対の大きな理由としているトイレ設置については、具体的な根拠も示し、再三にわたる説明を行っており、説明責任に問題ありとする意見も当たらないと考える。

また、新年度予算には、学校給食費無償化事業、子育て支援事業、老人福祉対策事業等々、町民の暮らしに直結する多くの施策が取り上げられており、この1年の町民の暮らしを守る予算を通さないわけにはいかない。

新規

目で見える予算

—令和7年度 注目事業—

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業 2億8,344万円



民間の児童福祉施設に対し、受け入れに必要な費用を措置するとともに、近隣市町の子ども・子育て支援制度に移行している幼稚園等に対し、利用に伴う施設型給付費を給付する事業

震災慰霊碑「大地の塔」環境整備事業 3,000万円



東日本大震災で犠牲になられた方々に対し、深い哀悼の誠を捧げるとともに、震災の記憶を後世に伝えることを目的に整備された、「大地の塔」の環境整備として、トイレを再整備し来訪者へのサービス向上を図る事業

深山山麓少年の森拡張・改修事業 1億2,872万円



深山山麓少年の森において、経年による施設の老朽化や登山客の増加に伴う駐車場不足等が生じていることから、駐車場の拡張と、バーベキュー広場やイベント広場、人工芝そり滑り等を整備する事業
※令和7年7月中旬リニューアルオープン予定

町民バス運行事業 5,233万円



全町民、とりわけ子どもや高齢者といった「移動制約者」と呼ばれる方々の移動手段の確保を図るため、町内全域を面でカバーする「予約運行型」と、利用者が多い区間を路線でカバーする「定期運行型」の2形態の町民バスを運行する事業

特別委員会 質疑

執行部への質疑

○農業振興の負担金補助及び交付金

えていない。

問 苗木購入補助はイチジク、リンゴ、ブルーベリー等となっているが、温暖化の影響もある中で、ミカンも追加する考えはないか。

○町民バス運行
問 令和7年1月からの実証運行では、いわゆる交通弱者の利用に際し様々な問題が発生しており、改善などの考えはないか。

答 一品でも多い振興作物として取り扱うために、必要に応じ担当課と情報共有し対応を検討したい。

答 実証運行期間に、不具合の声が聞こえてきており、修正、見直しを検討する必要があると意識している。

問 カメモシー斉駆除の対象区域は。

○排水対策

答 被害の多かった坂元地区国道6号から西側の田んぼを中心に予定している。範囲は上平、中山、久保間、真庭、高瀬、浅生原区の間部である。

問 坂元地区の谷地川に設置されているポンプが設置後50年経過しており、排水能力も低いいため、その対策を伺う。

○室内遊び場
問 町政施行70周年をスタートとして、屋内遊び場設置の考えはないか。

答 調査結果が今回出され、近年、気候変動により雨量も変化していることから、今後、国・県とも協議し、排水対策を進めていく。

答 今年は節目の年であるが、70周年記念事業としては考

○定住促進対策

問 定住促進事業で、移住人口は増えているが、総人口が減っている状況である。定住促進対策をもっと押し進め、増減が釣り合うくらいの対策をする考えは。

○小学校再編
問 最終候補地はもう決まっていると受け止めてよいのか。今後、保護者、地域等の関係者と意見を交換し進めていかないと問題では。

答 定住促進支援は、昨年より金額を減らしているが、県内全体を見ると最高水準を保っており、また給食費無償化などの新規支援をしていることからご理解願う。

答 山元中を中心とした敷地に小学校を新築して、新たな小中学校という形で、今後事業を進めさせていただきたいと理解を求めていく。

○組織再編の取り組み

問 各課の時間外勤務の実態を、どのように受け止め最終調整を行ったのか基本的な取り組みを確認する。

○震災遺構の維持管理

答 各課のヒアリングを行い、個々の業務の効率化を目的に見直しを行い、平準化できるように取り組んだ。

問 関連予算の歳出2900万円、歳入1千万円、差し引きで持ち出し1900万円は非常に今後危惧する部分だが認識を伺う。

○「大地の塔」トイレ設置
問 トイレ設置は、最小費用で最大の効果を前提にし、3千万円の予算額にこだわらず、できるだけ廉価に収まるようにすべきだ。

答 トイレ再建は、町として責

問

総括質疑

この予算どうなる!?

○総括質疑とは、提案された予算議案（または決算認定）について疑問や不明確な点があるとき、町長等に問いただすもの。
予算（または決算）に関係することしかできず、自分の意見を述べることはできない。

齋藤 俊夫 議員

トイレ設置より他事業を優先すべき

〔町長〕トイレは別事業として早期に対応

問 トイレ設置は、利用者が限定的な公共サービス提供である。排水対策や道路整備など急がれる他の事業に優先してまで、取り組まなければならぬ理由と必然性は。

答 「大地の塔」は大震災での犠牲者を追悼する場であり、多くの方が哀悼の誠を献げに訪れる特別な施設である。設置当時の検討委員会の意見の一つに、「トイレがあること」を勘案して旧山下駅前跡地が選定されており、その再建は当時の選定理由に沿うものである。

問 3千万円の予算が可決された場合、予算執行に当たっては、代替案として提起した「屋外ユニットトイレ設置」か「トイレカー導入」であれば、概ね500万円に対応可能である。そのことを踏まえ、極力廉価な設置費に収まる工夫、努力を惜しまないことの確認は。

答 3千万円の予算を全部使うのではなく、そこに合わせた形のものを検討していくことを考えている。最小の費用で最大の効果を発揮すべきとの指摘は、肝に銘じて進めていきたい。

遠藤 龍之 議員

各種基金を住民負担軽減に活用を

〔町長〕引き続き柔軟な運用に努める

問 一般会計予算の各種基金は、住民負担軽減に適正に有効活用されているか。

答 一般会計予算の各種特定目的基金について、町の諸課題の解決等のため、基金の設置目的を踏まえながら活用している。これらの基金については、いずれも昨今の物価高騰等を踏まえ、住民負担軽減を図る観点からも、年間を通じて機動的に対処できるよう、引き続き柔軟な運用に努める。

問 大幅な組織再編で予算執行に支障はないか。

答 組織再編については、新たな行政課題や、複雑化、多様化する行政ニーズへの対応、そして業務の平準化、効率化を目的としており、課題や懸案事項等の確実な事務引継ぎであると考え、行政サービスに混乱が生じないよう努める。

問 会計年度任用職員の処遇改善は予算に表れているか。

答 新年度予算において、勤勉手当は職員手当に反映させ計上している。人事院勧告に伴う給与改定についても、令和7年度当初予算に一般職員の行政職給料表を準用した職員給料等に反映させ計上した。

一般質問 我が町政を問う

一般質問大綱一覧

- 竹内 和彦 議員 P12
 - ★1 坂元地区の排水対策について
 - ★2 上下水道管の維持管理等について
 - 3 いじめと不登校の現状と対策について
- 齋藤 俊夫 議員 P13
 - ★1 再編小学校具現化の進捗について
 - 2 いちご栽培を巡る諸問題について
 - ★3 公約等の実現と健全財政について
- 品堀 栄洋 議員 P14
 - ★1 官民一体となった買物弱者への対策について
 - ★2 交通弱者への対策について
- 高橋 真理子 議員 P15
 - ★1 「子育てするなら山元町」の支援推進策について
 - ★2 ひとが集う魅力的な町づくりについて
- 大和 晴美 議員 P16
 - ★1 防災・減災について
 - ★2 元気で健やかに暮らせる施策について
- 岩佐 孝子 議員 P17
 - ★1 東日本大震災復興事業の完遂について
 - ★2 魅力あるまちづくり
- 遠藤 龍之 議員 P18
 - ★1 一人暮らし等高齢者対策について
 - ★2 学童保育事業の取り組みについて
 - ★3 国保税の引き上げを見直す考えはないか
- 伊藤 貞悦 議員 P19
 - ★1 町の組織体制と職員数について
 - ★2 町の活性化について

※スペースの都合上、質問項目の前に「★」が付いている内容のみ掲載しております。掲載項目以外の内容の詳細は、右の二次元バーコードから録画映像をご覧ください。➡



○一般質問とは

町の行政全般にわたり、状況や見通しを聞き疑問点をただし、所信の表明を求めもの。

抜本的な排水対策とは

町長 効果を確実し段階的に取り組む

問 坂元地区排水能力の、現状分析と抜本的な排水対策は。

答 令和元年の台風19号雨量を基準とした排水解析により、既存排水路幅幅や、かさ上げが必要であること、またその排水路幅に必要用地確保が困難など、問題点や現状を把握した。

その上で、坂元支所を中心とする市街地の冠水解消や被害軽減に向けて、既存調整池や排水ポンプ車両の効果

が発揮されるための排水路の整備、また地区全体の雨水量を抑制する手法の1つである田んぼダムの活用検討など、排水対策における事業の方向性を整理したところである。

問 抜本的な排水対策実施の見通しは。

答 様々な検討業務の結果を踏まえた対策、効果を確実しながら、段階的に取り組んでいく。

問 今回の調査で、坂元地区の排水に関する

詳しい調査結果が出たわけである。現状の谷地川の排水能力では河川の氾濫、洪水は防げない。

降った雨量流出量の5分の4は氾濫すると、分析データではっきり示されたことから、地

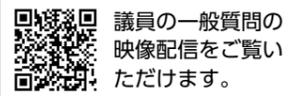
区住民は常に危険な状況にある。

この問題を喫緊の課題として抜本的な排水対策を早急に取り組むべきである。

答 全力で対応していく。



議員 竹内 和彦



議員の一般質問の映像配信をご覧ください。



坂元地区中心部の洪水（令和元年台風19号）

下水道管の緊急点検は行ったのか

町長 点検は行っている

問 埼玉県八潮市で起きた道路陥没事故は、下水道管の腐食が原因と言われている。我が町において、下水道管の緊急点検はなされたのか。

答 点検が必要と判断されたマンホール72ヶ所を、2月に2回に分けて点検を行った結果、陥没に繋がるような異常は確認されていない。

問 我が町では、東日本大震災、その後福島県沖地震が2回と、合わせて3回の大きな地震に見舞われている。

下水道管に少なからず亀裂や小さな割れの部分からの腐食発生はないのか。

答 東日本大震災において、被害があった管は耐震対策を講じた復旧を行っている。その後の2回にわたる福島県沖地震による被害は、下水道管3力所の局部的な被害にとどまっている。

その他の質問

- ・全国のいじめ重大事態の約4割は、学校側がいじめとして認知していなかった件を踏まえ町の現状と対策は。
- ・児童生徒の不登校が増えている件について町の現状と対策は。

再編小学校の形態と候補地選定は

町長 小中一貫校、山元中を中心の用地で

問 再編小学校員現化の進捗状況は。

答 将来の児童・生徒数や施設の規模など、様々な要件を考慮した上で、候補地は「山元中を中心とした用地」と選定した。

問 理想的な再編小学校実現に向け、新たに用地を取得し、校舎整備した場合の事業費は。

答 他自治体の事例から小中一貫校の場合、校舎整備で約58億円、他に用地費や既存施設解体費等で5〜20億円

を想定する。

問 理想を追求しつつも、既存の校舎や用地の有効活用、生徒数の減少傾向や財政負担等を見据え、現実的な対応の是非と事業費は。

答 新たな用地に新たな小中一貫校建設は理想的だが、財政負担を考慮するとハードルが高い。山元中の築年数23年経過を踏まえ、既存校舎を一部改修し、施設一体型または併設型として小学校を新築するのが現実的で、そ

の場合は約32億円である。



候補地の山元中学校

身の丈に合ったシビアな予算編成は

町長 前年度当初を約4億円上回る結果に

問 一般会計予算規模が前年度当初予算を上回り、取り巻く環境に沿った予算編成とならなかった理由は。

答 予算編成は規模の適正化を図るべく、経常経費等を中心に抑制に努めたが、人件費の上昇や民生費の増加が著しく、歳入・歳出ともに増加する結果になった。

問 予算編成と中期財政見通しとの整合性は。

答 編成予算額は約84億円、財政見通しとは約3億円かけ離れている。

問 財政見通しを毎年改訂するのであれば、実際の予算編成と極力リンクさせるべきである。

答 財政見通しは一定の基準日を設け推定しており、その後の財政需要により、かけ離れることになるが、更なる精度向上に努める。

問 「大地の塔」のトイレ設置は、代替性の検討を含めたものか。

答 屋外ユニットトイレや自走式トイレカーの導入、施設規模の縮小を目的に多目的トイレの併用型を調査したが、トイレカーは乗降の課題、多目的トイレの併用は、車いす使用者が使いにくくなる等の課題がある。精査したが、これまで同様の施設規模が望ましい。

問 最小の費用で最大の効果や、見込まれる財政需要を踏まえ、代替性の検討を軸とした対応に意を用いるべきである。

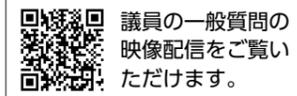
答 必要な予算を確保したとしても、漫然と事業を進めるつもりはなく、常識的に考えた形での設置である。

その他の質問

- 「いちご」の故郷山元町として、いちご栽培の持続的成長に繋げていくための最大の鍵は、担い手・後継者の確保に向けた支援の充実・強化にある。大胆な支援制度を構築すべき。



議員 齋藤 俊夫



議員の一般質問の映像配信をご覧ください。

官民一体となった買物弱者へ対策は

町長 生活支援ニーズとの合致に努める

問 買物弱者に対する民間事業者との連携による情報の周知は。

答 収集した情報を基に地域支援マップを作成し、提供する予定である。

問 今年度バスツアーが開催されることだが、この取り組みは買物弱者と言われていた方々にとっては非常にありがたい取り組みであり、今後も継続すべき。

しかし、買物弱者の中には、障害のある方

もおり、バスを利用することは厳しいのではないかと考える。そういった場合も想定し、どのような対策を講じていくのか。

答 民間事業者が、自宅まで届けるサービスがある。

問 「広報やまもと」に移動販売車の販売場所や、時間を掲載することは可能か。

答 新しい情報が発信できるように検討していく。

問 民間事業者や地域

関係者との情報交換の場を持つとあるが。

答 事業者と意見交換をし、地域に根差した移動販売事業が展開できるようにする。

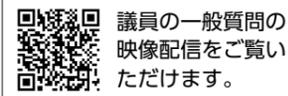
問 民間事業者に対する町からの補助施策は。

答 事業者が必要とする支援策についても調査研究していく。

問 お年寄りの方々の生活を守るのが私たち現役世代の役目である。少しでも便利になるよう、町の今後の対応に期待する。



しなほり よしひろ 議員 品堀 栄洋



議員の一般質問の映像配信をご覧ください。



「子育てするなら山元町」支援推進

町長 現在の屋内遊び場の事業を展開する

問 子ども達の自信や自己表現力、国際的な視野を広げ、ひいては将来豊かな人生をも送ることができるよう、国の教育課程特例校制度を活用する考えはないか。

答 今後小学校を再編するに当たり、小中一貫教育を推進する学校を考えているが、制度を活用することが想定され、英語教育に力を入れることも検証の対象になる。

等に、子どもや保護者の意見を生かすよう、地域おこし協力隊をコーディネートとして、自由に話し合う機会を作る取り組みを要望する。

答 提案として受け止める。

問 本町唯一の屋内遊び場のこどもセンターは、保護者から不満の声があり、もっと自由に遊べる屋内遊び場の要望がある。

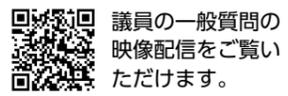
答 LINE事業は今年7月を目指して、当初は、各種申請書交付等の4項目を進めるが、活用を広めることは可能で、取り組みを進めていく。

問 子育て支援推進策

いづれ廃校となる小学校体育館の活用は考慮されるか。



たかはし まりこ 議員 高橋 真理子



議員の一般質問の映像配信をご覧ください。

ひとが集う魅力的な町づくりを

町長 新たなイベントの企画を鋭意検討



もうすぐオープン！

問 昨年11月に再建された「大條家茶室」の評判や、今年リニューアルオープンが近い「深山山麓少年の森」の今後のイベント企画等は。

答 町内外の多くの来場者から「伊達家ゆかりの貴重な茶室を間近に見られて良かった」、「茶室の構造や文化財の修復を学べた」等の評価を得ている。「深山山麓少年の森」については、当該指定管理者と協力し施設を生かした魅力あるイベントを企画していく。

問 ふるさと観光大使任命に対しての検討結果は。

答 来年度早い段階で進められればと考えている。山元町の民話は本町の風土や歴史文化を伝える、貴重な観光資源である。町の認知度向上にも、活動機会の創出に努める考えはないか。

答 民話の伝承活動の一環とし、歴史民俗資料館との共催事業「民話語り」を定期的に開催し町内外からも好評を得ている。山元民話の会の活動PRや会員確保の支援に努める。

交通弱者へのサービス向上支援策は

町長 町民バスの運行体制を見直した

問 町民バスの新料金設定において、交通弱者に対する考えを伺う。

答 運行体制の経費節減に努め、乗車料金の上昇を最低限にとどめ、急激な負担にならないように配慮した。

問 妊産婦への料金は考慮されたか。

答 妊産婦に対する料金設定については行っていない。

問 障害のある方に対する、新たな町民バスの利用料金を見直す考えはないか。

答 実証運行の状況も踏まえ検討していく。

問 町民バス予約運行型、介護タクシーの乗車体験講習会の実施は。

答 方法も検討しながら実施していく。

問 町民バス予約運行型は、町内在住者に利用が限られている。町外からの通勤通学者に対する早急な利用拡充の考えはないか。

答 実証運行の状況等も踏まえ、慎重に判断していく。

問 障害者就労および社会参加の実態、通学状況、変更前ルートなど、町民の声を聞いて、調査し柔軟なよりよい町民バスの運行を望む。

ムービングハウスの協定を結んでは

町長 早急に調査研究する

問 トイレの備蓄の現状は。

答 指定避難所に簡易トイレ用凝固剤セットを、約1万2千回分備蓄している。

問 高齢者や障害のある方が避難所で快適に生活できるように、手すり付きポータブルトイレを備蓄する考えは。

答 組み立て式の簡易用ポータブルトイレは若干在庫があるが、臨機応変に今後対応したい。

問 ベッドの備蓄を追加する考えは。

答 備蓄数が指定避難所の想定収容人数に対して不足しているため、段階的にベッド等の整備に向け取り組む。

問 令和6年度総合防災訓練での組み立て訓練で使用していたのは、ベニヤ板ベッドだった。本町で備蓄のものはすべて同じか。

答 木製の組み立てベッド84台、木製でない折り畳みベッドが52台のほか、全148基中段

ポールベッドは1基のみである。

問 段ポールベッドに関する協定は。

答 災害時応急用段ポール供給に関する協定を締結しているが、今後は段ポールベッドに特化した協定の取り組みを進める。

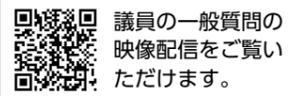
問 「ムービングハウス」を仮設住宅として活用している自治体がある。ムービングハウスの認識は。

答 仮設住宅との違いを調査していなかった。問 白石市は令和7年1月8日に日本ムービングハウス協会と協定締結した。県内では、仙台市、亶理町、川崎町なども協定を結んでいる。一日も早く被災者に対する快適な住環境を提供するため、協定締結を急ぐべきである。

答 早急に調査研究する。



議員 大和 晴美



組み立て訓練に参加する小学生

震災復興事業の早期完遂を望む

町長 早期実現に向け取り組み

問 未完遂事業である慰霊碑「大地の塔」のトイレ再整備計画は。

答 トイレ建設は復興事業の完遂に向けた事業のひとつである。過去2回認められていないが、町内外の方々からの署名が添付された要望書提出など、多方面から設置要望がある。慰霊碑は震災で犠牲になられた方々へ、哀悼の誠を捧げる特別な施設である。令和7年度予算に計上しており、趣旨を理解願いたい。

問 トイレは「大地の塔」の附帯施設であり再建である。工事計画、完成時期については。

答 予算が可決されれば、できるだけ早い段階で整備したい。

問 災害公営住宅整備事業「道合地区」を整備する際、町民の安全・安心を確保するための議会から、町道25号線、通称「四番作道」をかさ上げすべきとの意見があったのではないか。

答 令和7年度は東西に横断する排水路工事に着手、8年度以降は道路本体の盛土工事を施工する計画で9年度末の完成に向け取り組む。

問 換地、登記が完了した東部地区農地整備事業での未耕作農地の現状と解消対策は。

答 未耕作地は概ね畑地である。広報紙やホームページ等により耕作者を募り、令和7年1月に12町歩まで減少した。今後も耕作者の発掘、情報提供や隣接営農者に連担し耕作を依頼する等の解消に向け取り組む。

問 東部地区町有地の現状については。

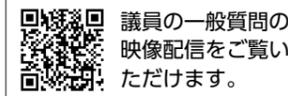
答 町有地全体面積は29町歩で貸出地は約5町歩である。集団化、町単独、民有地との混合の3区分にされ筆数

136筆、80箇所程と所有地は点在している。問 企業誘致等のため、先行投資をして未耕作地を取得する考えはないか。

答 現状としては個々の対応としており、町は出来る限りの協力をしたい。



議員 岩佐 孝子



町有地全体面積は29町歩で貸出地は約5町歩である。集団化、町単独、民有地との混合の3区分にされ筆数

魅力ある町づくりのPRをすべき

町長 多方面から調査・研究する



未来へつなごう

問 町内にゆかりのある方を「PR大使」として委嘱する考えや、仙台から足繁く遺構中浜小学校に通い「みやぎ災害伝承ポスターコンクール」で最優秀賞を受賞した幼稚園児がいるが、防災の日や3・11等に一日館長に任命してはどうか。

答 様々な形で関わっている方がいるので多方面から調査、研究をする。

問 希望の持てる町づくり実現するため、一日でも早い取り組みを望む。

带状疱疹予防ワクチンの助成拡大を

町長 今後検討していきたい

問 令和7年度から定期接種が開始される带状疱疹予防ワクチンは、いつからの接種を目指すのか。

答 4月1日からの開始に向け、町内では5つの医療機関で予定している。

問 接種対象者は。

答 65歳と60歳以上65歳未満の免疫機能障害を有する方となる。令和7年度からは、5年間の経過措置で、70歳以上から5年経過措置対象である。

問 接種に要する自己負担額は。

答 生ワクチンは1回当たり4千円を1回分、組換えワクチンは1回当たり1万円を2回分である。

高齢者等見守りの取り組み強化を

町長 孤独死を防ぐ対応に努めたい

問 今、一人暮らし等高齢者化社会を巡って多くの懸念が取り上げられている。「高齢化や孤独死、なお深刻、コミュニティ維持困難に」、「老いる災害公営、65歳超45・5%に、独居世帯は37%、単身者の行く末悩む現場」等々、新聞報道で高齢者の一人暮らし等の深刻な実態が伝えられているが、高齢者一人世帯等の実態、これまでの取り組みについて伺う。

答 一人暮らし959世帯2人暮らし785世帯と全世帯の約36%を占めている。高齢者対策は大変重要な課題と認識しており、これまで生活支援体制整備事業を実施するとともに、一人暮らし高齢者については、緊急通報システム等の導入や高齢者等見守りサービスの費用助成等、孤立防止に努めている。

孤独死の実態は令和3年度5件、4年度8件、5年度6件、6年

度ゼロとなっている。

問 孤独死の対応は。

答 地域の支え合いの事業による見守り活動や、生活支援コーディネーターによる訪問相談活動を行っている。

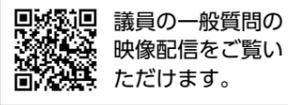
問 緊急通報システム

や高齢者等見守りサービス事業の予算措置の効果が見えないが。

答 大変重く受け止めており、孤独死を防ぐ対応に努めたい。



えんどう たつゆき 議員 遠藤 龍之



利用料の無料化を図る考えはないか

町長 今後の大きな課題ととらえている

問 学童保育事業の取り組みについて、二丁の高まりが見込まれ、利用者のニーズへの対応に努める。小学校再編後の運営方法についても、関係機関と調整しながら総合的に検討していくとしているが、待機児童の存在など取り組み状況は。

答 町内全ての小学校で放課後児童クラブの整備が完了。入会児童数は17人、待機児童は5人が発生する見込みである。

問 「第3期山元町子ども子育て支援事業計画」では、7年度は200人が入所可能であることが示されており、計画は待機児童はゼロであることを指摘し、利用料の無料化を図る考えはないか伺う。

答 子育てや教育に係る経済的負担を軽減し、子育てしやすい環境を整備することは重要なことと認識しているが、財源確保が大きな課題となり、現段階では難しいと考える。

問 財源確保が困難というのだが、係る経費は600万円弱、工夫があれば無料化は可能な予算ではないか。

答 今後の大きな課題と捉えている。

その他の質問

国保税値上げを見直すべきである。
 ・国保世帯の実態をどう見ているか
 ・高額療養者の負担上限引き上げについて
 ・国保世帯の厳しい暮らしの現状を考えた時、国保税の引き上げを見直すべきである。

組織内の仕事量に偏りはないか

町長 偏りを全くなくすることは非常に困難

問 令和7年度から庁内組織が再編されるが、組織内及び職員個々の仕事量に偏りはないか。

答 各課等へのヒアリングにより職員個々の仕事量や内容、時間外勤務実績等を基に業務量と職員数の偏りについて把握に努めた。指摘のあった「偏り」については、当然、全く無くすということは非常に困難であると認識している。特定の職員の過重な負担にならないよう配慮したい。

問 休職者や病休者の現状から考え、組織の再編だけで十分対応できるのか。

答 休職者や病休者の業務をカバーしなければならぬことや、職員数の減少と業務量の増大が重なり、職員の負担は大きい状態が続いている。

再編による業務の平準化や効率化のみで対処することには限界があることから、新規採用職員や会計年度任用職員等の採用により職

員数と事務事業のバランスを図る。

問 現在の職員数で町民に対するサービスは低下しないのか。

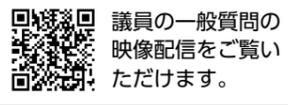
答 優先順位を踏まえて事業の重点化・選別化による業務量の調整をはじめ、適切な人員配置に努め、限られた職員数でも円滑にサービスを提供できるよう取り組む。

問 業務の基軸となるプロパー職員が必要と考えるが、増えない理由は何か。

答 職員は強い責任感や使命感を持って業務に当たっているが、職場環境の多様化に伴う公務員離れが進んでおり本町も例外ではない。ここ数年の早期退職者の増加が要因の一つでもあり、引き続き職員の確保に努めたい。



いとう ていつ 議員 伊藤 貞悦



明るい庁舎です

国内外との交流は考えられないか

教育長 早急な実施は難しいと考える

問 小中学生の希望者による交換留学やホームステイは考えられないか。

答 新たに国内外との各種交流を行うことは、先方との調整に時間を要することが想定され、早急な実施は難しいと考えている。

過去の交流事業として平成25年度から平成30年度まで宮崎市との派遣事業を実施した経緯があり、参加者は非常に有意義な経験ができたと考えている。

国外との交流については、丸森町で台湾の新北市との姉妹校提携が進み、小中学校間で国際交流が開始されており、本町においても児童生徒が「夢や希望」を持てる国際交流施策を研究したい。

その他の議案

○一般会計補正予算概要

歳入歳出予算とともに、決算見込みに伴う不用額の整理や、国県支出金の実績確定に伴う清算金を中心に計上したほか、地方債の繰り上げ償還金が計上されました。

令和6年度 各種会計補正予算一覧表

会計名	補正額(3月)	合計額
一般会計	△2億9,363万円	84億4,657万円
国民健康保険事業特別会計	△584万円	17億8,196万円
後期高齢者医療特別会計	54万円	2億3,302万円
介護保険事業特別会計	△137万円	16億59万円
水道事業会計	△527万円	5億5,715万円
下水道事業会計	△1,755万円	9億7,917万円

条例

○山元町議会議員の請負の状況の公表に関する条例【委員会提案新規条例】

議員の請負に関する規制の明確化及び緩和が行われたことに伴い、議員の町に対する請負の状況を公表することにより透明性を確保するため新規に条例を制定する。

- ・公表内容 前年度1年間の、議員が町から請け負った役務、物件、支払いを受けた総額等
- ・施行期日 公布の日

人事【敬称略】

○教育委員会委員の任命につき同意を求めるところについて

【同意第1号】
菅野正彦 (山寺区) を同意

○人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
【諮問第1号・第2号】

千石裕子 (鷺足区) を「適任」と答申
遠藤小百合 (花釜区)

第1回臨時会

第1回臨時会が開催され、議案4件を審議し原案通り可決しました。

- ・小中学校教師用教科書及び指導書購入に係る物品購入契約の締結について【議案第1号～第3号】
- ・補正予算(第5号)【議案第4号】

会計名	補正額(1月)	合計額
一般会計	1億2,574万円	87億4,040万円

○主な補正予算事業

- ・物価高騰支援商品券配布事業 6,958万円

※町民1人当たり5千円の商品券を配布する事業(5月配布予定)

町の仕事をチェック!!

総務民生常任委員会

◇令和7年度の組織再編

調査内容

少子高齢化・人口減少による社会情勢の変化するなか、震災後の新たな行政課題や複雑化・多様化するニーズへの対応、職員の働き方改革の推進、組織全体の業務平準化や効率化を目的とした取り組みの現状について説明を受け、実態を調査した。

意見

業務量が増加する中、現状は早期退職者も多く、職員確保が困難となっている。特に土木職や保健師については応募がない状況であるため、待遇改善等を含め検討するべきである。各課間及び担当者間の時間外勤務のバラつきを是正すべきである。

特に新設や統合される課においては研修など、人材育成を図り再編後も各課、班体制の効果を高める施策に取り組みべきである。

産建教育常任委員会

◇排水対策

調査内容

坂元地区及び横山区の排水対策に係る調査結果及び対策案について説明を受け調査した。

意見

今回の調査結果を基に、豪雨時による越水、冠水の要因を分析し、被害の軽減に向けた効果的かつ有効的な排水対策案は、更なる検討を行うべきである。



◇再編小学校

調査内容

学校形態、学校用地、小学校の解体について説明を受け調査した

意見

住民説明会では、学校形態の一体型と併設型の違い等を分かりやすく説明し、町民の理解を得るよう努めるべきである。令和12年度春の開校実現に向け、スケジュール管理に努めるべきである。

議会活動報告

令和7年2月26日に発生した岩手県大船渡市の大規模林野火災に対して、議員全員から義援金を送ることを決定し、4月16日に議長・副議長が大船渡市を訪問、大船渡市の伊藤力也議長に目録を手渡しました。同様に、大規模林野火災に見舞われた愛媛県今治市に対しても、東日本大震災の際に、長期で職員の派遣を受けていたことから、義援金を送っております。



目録を渡す菊地議長

議員の会議等出欠状況

令和7年1月1日～3月31日

出席：○ 欠席：欠（病気等）・公（公務） 員外：—

月	日	曜日	開催会議名等	1	2	3	4	5	6	8	9	10	11	12	13	
				竹内和彦	高橋眞理子	遠藤龍之	丸子直樹	大和晴美	渡邊千恵美	品堀栄洋	岩佐秀一	齋藤俊夫	岩佐孝子	伊藤貞悦	菊地康彦	
1	9	木	広報・広聴常任委員会	—	○	—	○	—	—	○	○	—	—	○	—	
	10	金	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			総務民生常任委員会	—	—	○	—	—	○	○	○	○	○	○	—	—
	14	火	巨理地方町議会議長会視察研修	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	
	15	水	産建教育常任委員会	○	○	—	○	○	—	—	—	—	—	○	○	—
			県議長会議員講座	—	—	—	○	○	○	—	○	—	○	○	—	—
	17	金	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			議会運営委員会	—	—	○	○	○	○	—	—	○	—	○	○	○
	20	月	広報・広聴常任委員会	—	○	—	公	—	—	公	○	—	—	○	—	—
	23	木	第1回議会臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	24	金	広報・広聴常任委員会	—	○	—	○	—	—	○	○	—	—	○	—	—
	26	日	議会報告会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	28	火	総務民生常任委員会	—	—	○	—	—	○	○	○	○	○	○	—	—
	30	金	仙南・巨理地方町議会議長会議員研修	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
31	金	宮城県大衡村議会視察対応	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	
2	10	月	巨理名取地区市町議会連絡協議会議員研修	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
	12	水	総務民生常任委員会	—	—	○	—	—	○	欠	○	○	○	—	—	
	13	木	全員協議会	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	
			議会運営委員会	—	—	○	○	○	○	—	—	○	—	○	○	○
	14	金	産建教育常任委員会	○	○	—	○	○	—	—	—	—	○	—	—	
	20	木	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	21	金	議会運営委員会	—	—	○	○	○	○	—	—	○	—	○	○	
	第1回議会定例会（2/28・3/4・5・7・21）			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	予算審査特別委員会（3/7・10・12・13・14・17）			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	17	月	議会運営委員会	—	—	○	○	○	○	—	—	○	—	○	○	○
18	火	総務民生常任委員会	—	—	○	—	—	○	○	○	○	○	—	—	—	
		産建教育常任委員会	○	○	—	○	○	—	—	—	—	—	○	—	—	
27	木	議会運営委員会	—	—	○	○	○	○	—	—	○	—	○	○		
28	金	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
31	月	広報・広聴常任委員会	—	○	—	○	—	—	○	○	—	—	○	—	—	

議長交際費

区分	1月		2月		3月	
	金額(円)	内容	金額(円)	内容	金額(円)	内容
会費	10,000	巨理名取地区市町議会連絡協議会情報交換会	25,000	巨理警察官友の会 他3件	5,000	消防団幹部会懇談会
慶弔	0		0		0	
その他	1,600	議会視察対応茶菓代	0		0	
合計	11,600		25,000		5,000	

○令和7年 第1回臨時会 議案等の審議結果【P21に記載】

議案番号	議案名	結果
議案第1号	令和2年度 小学校教師用教科書及び指導書購入事業に係る物品購入契約の締結について	可決 (全会一致)
議案第2号	令和3年度 小・中学校教師用教科書及び指導書購入事業に係る物品購入契約の締結について	
議案第3号	令和6年度 小学校教師用教科書及び指導書購入事業に係る物品購入契約の締結について	
議案第4号	令和6年度山元町一般会計補正予算（第5号）	

○令和7年 第1回定例会 議案等の審議結果

議案番号	議案名	結果
報告第1号	専決処分の報告について（賠償額の決定及び和解）	報告
議案第5号	山元町空家等の適切な管理に関する条例 ※総務民生常任委員会に付託、令和7年第2回定例会まで継続審査	継続審査
議案第6号	山元町職員の育児休業等に関する条例及び山元町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	可決 (全会一致)
議案第7号	山元町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	
議案第8号	山元町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例	
議案第9号	山元町職員の給与に関する条例及び山元町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	
議案第10号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	
議案第11号	山元町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	
議案第12号	山元町家庭の保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	
議案第13号	山元町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	
議案第14号	山元町子育て支援センター条例の一部を改正する条例	
議案第15号	山元町公営企業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	
議案第16号	山元町深山山麓少年の森設置条例の一部を改正する条例	
議案第17号	公の施設の指定管理者の指定について（山元町深山山麓少年の森）	
議案第18号	権利の放棄について（町営住宅家賃債権）	
議案第19号		
議案第20号	令和6年度山元町一般会計補正予算（第6号）	
議案第21号	令和6年度山元町国民健康保険事業特別会計補正予算（第5号）	
議案第22号	令和6年度山元町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	
議案第23号	令和6年度山元町介護保険事業特別会計補正予算（第5号）	
議案第24号	令和6年度山元町水道事業会計補正予算（第4号）	
議案第25号	令和6年度山元町下水道事業会計補正予算（第3号）	
議案第26号	令和7年度山元町一般会計予算【P4～10に記載】	可決 (賛成8反対3)
議案第27号	令和7年度山元町国民健康保険事業特別会計予算	可決 (全会一致)
議案第28号	令和7年度山元町後期高齢者医療特別会計予算	
議案第29号	令和7年度山元町介護保険事業特別会計予算	
議案第30号	令和7年度山元町水道事業会計予算	
議案第31号	令和7年度山元町下水道事業会計予算	
同意第1号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて【P20に記載】	同意
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて【P20に記載】	適任
諮問第2号		

○請願・陳情の受理

陳情番号	件名	陳情者等の氏名	結果
陳情第8号	令和7年度山元町補助金要望書	巨理山元商工会 会長 早坂正実	配付
陳情第1号	新年度（令和7年度）の年金改定では、物価の高騰に見合った年金額引き上げの実施を求める意見書提出を要請する陳情書	全日本年金者組合宮城県本部 執行委員長 芳賀芳昭	
陳情第2号	政党機関誌の庁舎内勧誘行為における庁舎管理規制の徹底を求める要望書	パワハラから職員を守る都道府県民の会連絡会 事務局長 佐々木一也 宮城を明るくする会 代表 菊池軌夫	
陳情第3号	再審法改正を求める意見書の採択について	仙台弁護士会 会長 藤田祐子	

すきです
Yamamoto



はじめまして「みんなの食堂 おむすびころりん」です

代表 高橋 英美

「おむすびころりん」は、子どもや高齢者の孤食を少しでも減らし「誰でもが集える居場所作り」を目指し、令和5年5月に立ち上げ、9月から活動を始めました。毎月第2土曜日に山元町内の各施設をお借りして『具だくさんのお味噌汁・おむすび』にこだわり、デザートや季節ごとのメニューなども取り入れながら皆さんにおいしく食べていただけるように、スタッフ一同力を合わせて提供しております。

3世代にわたって楽しんでいただけるよう「大人の読み聞かせ」「民話の会」「オカリナ愛好会」「腹

話術」等々のご協力をいただき、楽しかった・おいしかった・また来たいと思っていただけるように活動をしています。

毎月開催場所が変わりますが、開催地区の皆様には回覧板にて告知をさせていただいています。

また、LINE公式サイトに活動報告、開催場所も掲載しておりますので、ご確認の上、ご参加ください。

「おむすびころりん」
公式LINE



◆お知らせ◆

議会の
ホームページを
ご覧ください



山元町議会

検索

令和7年 第2回山元町議会定例会 (予定)

会 期：6月6日(金)～13日(金)

開 会：午前10時

本会議：6月6日、10日、11日、13日(一般質問：6月10日・11日)

～議会報告会を開催します～

日にち：令和7年6月29日(日)

時間・場所 【坂元会場】坂元地域交流センター 会議室1 午前10時～

【山下会場】山下地域交流センター 会議室5 午後2時～

意見交換会テーマ：「公共交通について」(仮)

編集デスク

桜の花が満開の中、町内各小中学校で入学式が挙行され、希望に満ちた素晴らしい式でした。皆さんご入学おめでとうございませう。

今年は、町制施行70周年を迎え、深山山麓少年の森拡張工事も進み、さらなる交流人口の拡大が期待されております。

我々議会も町民の皆様方が、安全で住みよい町を目指してまいります。

(委員長 岩佐 秀一)

〈議会広報・広聴常任委員会〉

委員長	岩佐 秀一
副委員長	高橋 眞理子
委員	丸 子 直 樹
委員	品 堀 栄 洋
委員	伊 藤 貞 悦